



4月には入学・進級の月。心も新たに、がんばろうという気持ちがわいてくるね。私も目標を決めてがんばるよ！

さあ、4月だ。学校の新しい1年が始まるね！担任の先生はどんな先生かなあ？楽しみだなあ。



「なら教育の日」に向けて募集した中から、小学3～6年生の優秀作品に選ばれた『心に届いた言葉』を紹介します

「なら教育の日」記念集会(昨年12月2日)で紹介する予定でしたが、新型インフルエンザ流行のため中止になりました。そこで、学校や家庭で心に届く言葉を交わせるよう、また、家族や友達同士のより良い関係を育ててほしいという願いを込めて、作品の一部を紹介します。優秀作品は、ホームページ (<http://www.city.nara.nara.jp>) でも見ることができます。

「ママうれしいわあ〜。」  
 済美小学校3年 久保慶太さん

大きな声であいさつした時、やさいを残さず食べた時、体が大きくなった時、人にやさしくできた時、つつみかかさず言えた時、せいっぱいがんばった時、ぼくの母さんは、「ママうれしいわあ〜。」と言ってくれます。そんな時、ぼくはホッとして、とてもうれしくなります。その言葉を言ってくれる母さんの顔は、いつもニコッとしています。

「一生けん命して失ばいするのはしょうがない。」  
 六郷小学校4年 大谷育未さん

これは運動会の当日、私の心に届いたお父さんの言葉です。私は、「組み立て体操を失敗したらどうしよう。」とそればかり気にしていました。そんな私をはげましてくれた言葉です。私は一生けん命がんばって成果を出そうと思いました。そしたら不安も少なくなり、どんどんパワーが出てきて、組み立て体操を一生けん命がんばり成こうしました。お父さんが、「よくがんばった。上手に出来たな。」とほめてくれて私はとてもうれしかったです。私は、いつもお父さんの言葉を思い出して、いろんなことをがんばりたいと思います。そして同じことで友だちがなやんでいたら、この言葉をかけ友だちをはげましてあげたいと思います。

「あきらめたらそこで終わり。でも努力をすれば、できなくても人を感動させられる。」  
 青和小学校5年 柴田侑佳さん

5、6年生は、運動会で組み立て体操をします。私は、運動会の練習があるまで逆立ちができませんでした。高度な個人技はできないので立候補せず練習があっても行きませんでした。でもお母さんと先生が「あきらめたらそこで終わり。でも努力すれば、たとえできなくても、人を感動させられる。」と教えてくれました。なんだか心がすっとしました。その後、練習して、逆立ちができるようになりました。この言葉は私にとって『元気の出る呪文』です。

「親友じゃなくて心友」  
 飛鳥小学校6年 谷口紗良さん

私が6年生になってすぐ、ようち園のころから仲がよかった友達とケンカをしました。その時、お母さんに「友達とは親友じゃなくて心友になれるように、相手の気持ちを考えてやさしくなりなさい。」と言われました。私はただ仲よしじゃなくて、ずっと心友でいられるように友達を大切にしようと思いました。次の日、ケンカをしていた友達にあやまって、仲直りができました。私は心から思える友達をたくさんつくりたいと思いました。

学校の紹介

あやめ池小学校の巻

あやめ池小学校は昭和四十年に伏見区富雄北小学校から分離合校し、開校しました。池のほとりにたたずむ学校で、背後にはうっそうと生い茂る森があり、自然に恵まれた学校です。池の名前は、蛙股池。日本書紀にも登場する由緒ある池です。池の対岸から満開の桜に包まれた校舎を眺めると、まさに絶景です。

開校当時の校舎は通称「蜂の巣」と言われる六角型で、大変斬新なデザインです。校舎建設に携わった人々の、新しい学校づくりに掛ける意気込みが伝わってきます。

玄関を入ると、正面に学校図書館があります。学校の中心部にあるので、子どもたちは頻りに図書館を訪れます。

趣向を凝らした「お話の会」など読書活動も盛んです。昨年度からは図書館ボランティアによる本の整理活動も始まりました。

地域のみなさんに温かく学校を見守ってもらい、さまざまな学校支援活動が行われているのも特徴の一つです。

【問合せ】学校教育課 (☎0742 - 34 - 4763)